



家庭の学びファシリテーターのすゝめ

その子なりのよさに目を向ける・成長の過程を認め、励ます・子ども自身の自己決定を促す

児童期(6歳頃)～ 自覚的な学び やる気いっぱい

幼児期までに体験を通して獲得した自信や他者を大切にすることの気持ちを基に、自分の取り組むべき課題を自覚して学びを進めます。その際、解決に向けて仲間と協力したり、進み具合を確かめ、改善したりすることで、より意欲的に追究するようになっていきます。

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

成長を認めて、寄り添おう

相談にのる

一緒に考える

共に成長を振り返る

こんな声かけが「いいね」👍



〇〇は、どうしたいの?どう思った(感じた・考えた)?
今日はどんなことを学校で学んだの?
友達の意見についてどんなことを考えた?
前と比べて～になっているね。ずっと～していたものね。



3つの「創る力」を伸ばす子ども自らの学び

進んで問題解決
に取り組む

自分で解決する楽しさ
仲間と取り組む喜び

学びに向かう原動力

メタ認知能力やコミュニケーション力の向上につながる

仲間や地域

きっとこうなるだろうから、
こうやって調べてみよう。
他の人の考えを聞いてみたい。
私の考えとどこが同じ(違う)のかな。
なんでなのかな。
ここまでは～だったから、
次は◆◆をしよう。

